

こんにちは！12月号の防災まちづくりNEWSをお届けします。この防災まちづくりNEWSでは、防災まちづくり担当の事業報告、今後の訓練情報、そして防災に関する豆知識など、盛りだくさんの内容でお届けいたします。どうぞ一読いただき、防災意識の向上にお役立ていただければ幸いです。



## Topic 01 災害時協力井戸 今年度新たに3件登録しました

詳しくはこちら

### 災害時協力井戸とは？

大規模な地震等が発生した時に、市民の身近な場所での生活用水※（トイレや洗濯等に使用する水）を確保するために、民間井戸の所有者または管理者のご厚意により、近隣の被災者へ井戸水を共助として無償提供いただく井戸のこと。 ※飲用不可。

### どこに災害時協力井戸がある？

この看板が目印  
平時から場所を確認しておきましょう！



住所	所有	登録年月
内藤1-19-2	個人宅	令和5年10月
内藤1-17-3	個人宅	令和5年10月
内藤2-10-13	個人宅	令和5年10月
戸倉4-34	満福寺	令和5年10月
東元町3-21	自治会共有井戸	令和5年10月
NEW 日吉町4-21-20	個人宅	令和7年10月
NEW 東恋ヶ窪3-17-1	個人宅	令和7年10月
NEW 北町2-24-1	個人宅	令和7年10月

### 自分の家にも井戸があります！

例年5月中旬～6月下旬にかけて災害時協力井戸の登録者を募集しています。登録要件は、①市内にある、②現在も生活用水として使用しており今後も使用可能、③災害時に周辺の市民が安全に井戸水を汲むことができるの3件です。募集については、市ホームページや市報でお知らせしますのでご確認をお願いします。

## Topic 02 防災兼用農業用井戸

平常時は、農業用水を供給する井戸として使用され、災害時には周辺住民へ生活用水（※飲用不可）を供給する井戸として開放していただく防災兼用農業用井戸が市内に12か所あります。所有者の方のご理解とご協力により災害時に使用させていただく井戸になりますので、利用に際しては所有者の方の注意をよく守り、譲り合って使いましょう。

この看板が目印  
平時から場所を確認しておきましょう！



詳しくはこちら



## Topic 03 並木町防災会設立説明会

11月30日（日）に並木町防災準備会の説明会に参加しました。

並木町は自治会、町内会がなく、地域の防災組織として、市民防災推進委員が中心となり、令和8年4月に防災会を立ち上げる予定です。

日頃から広く地域住民に防災の大切さ、自助共助の大切さを伝えるべく、並木公民館まつりに参加したりして防災に対する普及啓発活動を行ってきました。

今回、防災会立ち上げにあたり説明会を開催し、日頃の活動を紹介する防災まちづくりニュースの掲示やのぼり旗の設置など気運の高まりを感じました。

説明会では、国分寺市の防災について説明した後、防災会設立の意義や役割について説明があり、自分たちのまちを自分たちで守っていくために今後どうしていくか、防災会の役割の大切さを改めて感じました。並木町防災会の今後の活動に期待してまいります。

## Topic 04 1/11 10:00～ 国分寺市消防団 出初式

国分寺駅北口駅前広場（荒天の場合はリオンホール）で、国分寺市消防団出初式を開催します。国分寺市消防団（鈴木団長以下102名）が消防団指揮車及びポンプ車による分列行進のほか、一斉放水など日頃の訓練成果を披露します。



詳しくはこちら



号令や音響など大きな音を出すことがあります。また、国分寺駅北口駅前広場周辺道路で交通規制を行います。ご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をお願いします。

## Topic 05 改めて皆様に伝えたいこと

12月8日23時15分、青森県東方沖でマグニチュード7.5の地震が発生しました。青森県八戸市では震度6強を観測したほか、北海道から近畿地方にかけて震度6弱～1を観測しました。また、今回の地震の発生により、気象庁は北海道・三陸沖後発地震注意情報を発表し、政府は「特別な備え」「日ごろからの地震への備えの再確認」を実施するよう呼びかけています。

被災地の皆様が、一日も早く平穏な暮らしを取り戻されますよう心よりお祈りいたします。

今回改めて地震はいつどこで起こるか分からない、日ごろからの備えの大切さを実感させられました。防災は、活動の成果が目に見えてすぐにはわかるものではなく、地震が起きてしまったときに結果として見えてくるものであるからこそ、どこか自分事としてとらえることができない人が多い分野です。しかし、日ごろからの備えは大切であり、いつどこで起こるか分からない地震が、誰のせいでもなく突然発生した時に、防災訓練で学んだこと・日ごろから備えていたものが役に立つのです。目に見える成果も大切ですが、一人ひとりの心に地震に対する備えの知識、自助・共助の考え方が植え付けられて行動につながる「目に見えない成果」が何よりも大切だと思っています。

今まで市や自主防災組織等が実施している訓練や防災講演会、防災関連イベントに参加したことがない方にも、この思いが届き、これをきっかけに防災について考える・学ぶ・参加してみる一歩踏み出してもらえたら、担当として嬉しく思います。